

G118		里山学	
英名科目名	SATOYAMA Studies : The sustainable interaction of nature and humans in landscape		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL : 075 - 645 - 7891 FAX : 075 - 643 - 5021		
担当教員	宮浦 富保、村澤 真保呂、遊磨 正秀、太田 真人、落合 雪野、帖地 孝人、鈴木 龍也、山崎 英恵、越川 博元、横田 岳人、須藤 明子		
開講期間	2021年04月12日(月)~2021年07月26日(月) 3講時 13時30分~15時00分(毎週月曜日)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	月曜日 3講時
単位数	2	履修年次	1年次以降
会場	瀬田学舎		
授業定員			
単位互換生定員		京カレッジ生定員	
試験・評価方法	レポート 100%		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	30,000円(単位互換履修生は不要)		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	単位互換定員には京カレッジ生も含まれます。 【会場】 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。 複数教員によるチェーンレクチャーであり、それぞれの教員ごとにいろいろな方法で講義する。		
パッケージ科目	環境学		
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
講義概要 里山は、人間が長期にわたって手を入れ、自然と多様な形で関わり、自然と共生することによって、人間同士の共存を可能にしてきた場所であった。日本の生物の多様性の一部は里山の存在によって維持されてきたということも明らかになりつつある。ところがエネルギー革命と農業革命のため里山は放置され、都市の膨張とともに開発のターゲットにされてきた。生物多様性を維持し、人間の生活を支え、日本文化の形成にも密接に関連していたと考えられる里山が失われようとしている。「里山学」では、里山の環境、動植物、歴史、里山と文化・制度との関わりなどについて、複数の教員が講義する。			
到達目標 里山といわれる環境について、その歴史や現状を理解し説明することができる。里山を代表とする身近な自然環境と人間との関係について、自分自身の意見を持ち表明することができる。			
講義スケジュール			
1. 里山の歴史と現状 2. 里山の環境倫理 3. 里山のバイオマス資源 4. 人の生活と水環境 5. 環境社会学からみた里山 6. 染織文化をささえる有用植物 7. 里山と山の神 8. 人と自然の関係～森からの思想 9. 里山の所有と利用 10. 食と文化 11. 水辺環境と里山 12. 里山の昆虫 13. 瀬田地域の里山の歴史 14. 里山が放置され、増える生きものと減る生きもの 15. 里山の生物多様性			
教科書	講義時間内に教員ごとに指示する。		

参考書	丸山徳次・宮浦富保『里山学のすすめ』（昭和堂） （ISBN：9784812207383） 丸山徳次・宮浦富保『里山学のまなざし』（昭和堂） （ISBN：9784812209165） 村澤真保呂・牛尾洋也・宮浦富保『里山学講義』（晃洋書房）（ISBN：9784771026339） 講義時間内に教員ごとに指示する。
-----	---